

平成 31 年 1 月 12 日（土）から 15 日（火）の 3 泊 4 日の日程で、「有用水産生物を学ぶ総合演習」を竹原ステーション（水産実験所）と食品製造実習工場棟において実施しました。

本演習は、教育ネットワーク中国や水産海洋実践教育ネットワークなどによる、大学間の単位互換事業のもとで実施されています。今年は、福山大学 8 名、長崎大学 2 名、呉工業高等専門学校 1 名、韓国の国立全南大学 3 名、広島大学 4 名の履修者がありました（合計 18 名）。

実習では、カキや海藻類を使った観察や実験のほか、レトルト食品（カキのカレー）の加工実習を行いました。養殖施設見学では、広島県栽培漁業協会（各種稚仔魚）、田島漁協（ノリ）、安芸津漁協（カキ）を訪問し、職員や漁業者から説明を受けました。

講義や実習は、大塚教授、羽倉教授、富山准教授、加藤准教授、仲井技術職員、近藤研究員が担当しました。

本演習は、来年度から名称を「瀬戸内の養殖水産物を学ぶ総合演習」に変更し、引き続き開講されます。



栽培漁業センターの見学



海藻類の採集



カキ打ち体験



レトルト食品の加工